

標 題 令和元年度「きぬむすめ」生産振興研修会を開催

(ダイジェスト)

「コシヒカリ」の品質低下が著しい浜田市三隅町において、「きぬむすめ」への品種転換を推進することを目的に、このほど農家の体験談や試食会を盛り込んだ研修会を開催しました。

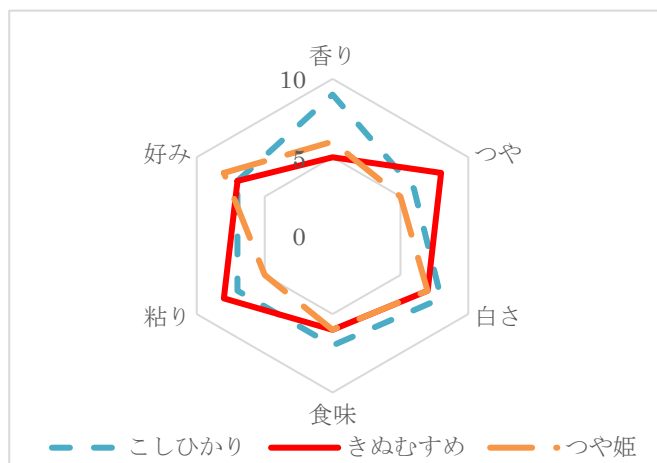
近年、JAいわみ中央管内では主要品種であったコシヒカリの品質低下が課題となっていることから、積極的に生産者に「コシヒカリ」から「きぬむすめ」への品種転換を推進しています。そこで、今回、生産者の品種転換を促すと同時に栽培技術を向上させることを目的に、管内でも「コシヒカリ」の品質低下が著しい浜田市三隅町において、8月7日、「きぬむすめ」生産者及び栽培検討中の生産者を対象に研修会を開催し、総勢26名の参加がありました。

研修会では、前段ではJAから生産・需給の状況について、農業技術センターからは多収穫施肥技術など、『儲かる「きぬむすめ」生産』について説明するとともに、農林振興センターからは三隅町に設置している多収窒素施肥法実証ほの生育状況について報告を行いました。また、後段では、三隅町で「きぬむすめ」生産に取り組む生産者4名に、実際に栽培してみた感想や栽培のコツを発表していただきました。最後には3品種（きぬむすめ、コシヒカリ、つや姫）の食べ比べを行い、アンケートを行いました。短時間ながら内容も盛りだくさんとなり、参加者も最初から最後まで興味深い内容の研修会になったとの声が聞かれました。

今後も管内での品種転換を推進していくため、JAや生産者と協力し、「きぬむすめ」多収穫施肥法の実証や、他地域での研修会の開催に取り組む予定です。



【研修会の様子】



【試食アンケートの結果】